

経鼻内視鏡受検者の アンケートによる実態調査

医療法人社団 亮正会

高津中央クリニック

※演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。



目的

当施設では経鼻内視鏡を導入し2年目となる。

下記を目的に経鼻内視鏡を受けた受診者に対して実態調査を行った。

- 経鼻内視鏡検査に対して感じる苦痛や不安や、看護者へのニーズについて把握し、苦痛や不安やを軽減した看護ケアを今後提供すること
- 経鼻内視鏡の需要についての現状を把握すること



対象と方法

- 対象者

経鼻内視鏡受診者

有効回答数 319名（男性217名、女性174名）

年齢は30歳～83歳（平均49.9±9.1）

- 調査期間

2019年5月14日～2020年1月18日

- 方法

経鼻内視鏡検査終了後、無記名による質問紙調査



質問紙の内容

経鼻内視鏡検査を受けられた方へ

当クリニックでは、皆様のご意見をお聞かせいただき、今後のサービスの向上につなげたいと思っております。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いします。

性別（男・女） 年齢（ ）歳

Q 1. これまでに胃カメラ（経口、経鼻を含む）を受けたことがありますか？

Q 2. 経鼻内視鏡を受けたことがある方へ、今回が何回目ですか？

Q 3. 今回経鼻内視鏡を受けた理由をお聞かせ下さい。

Q 4. 経鼻内視鏡検査を受けた感想をお聞かせ下さい。（自由記載）

Q 5. 次回は経口内視鏡と経鼻内視鏡のどちらを希望されますか？

Q 6. 経鼻内視鏡検査を受けてみて、どのような点が辛かったか、お聞かせ下さい。（自由記載）

Q 7. 経鼻内視鏡検査を受けるにあたり、説明してほしいことがありましたらお聞かせ下さい。

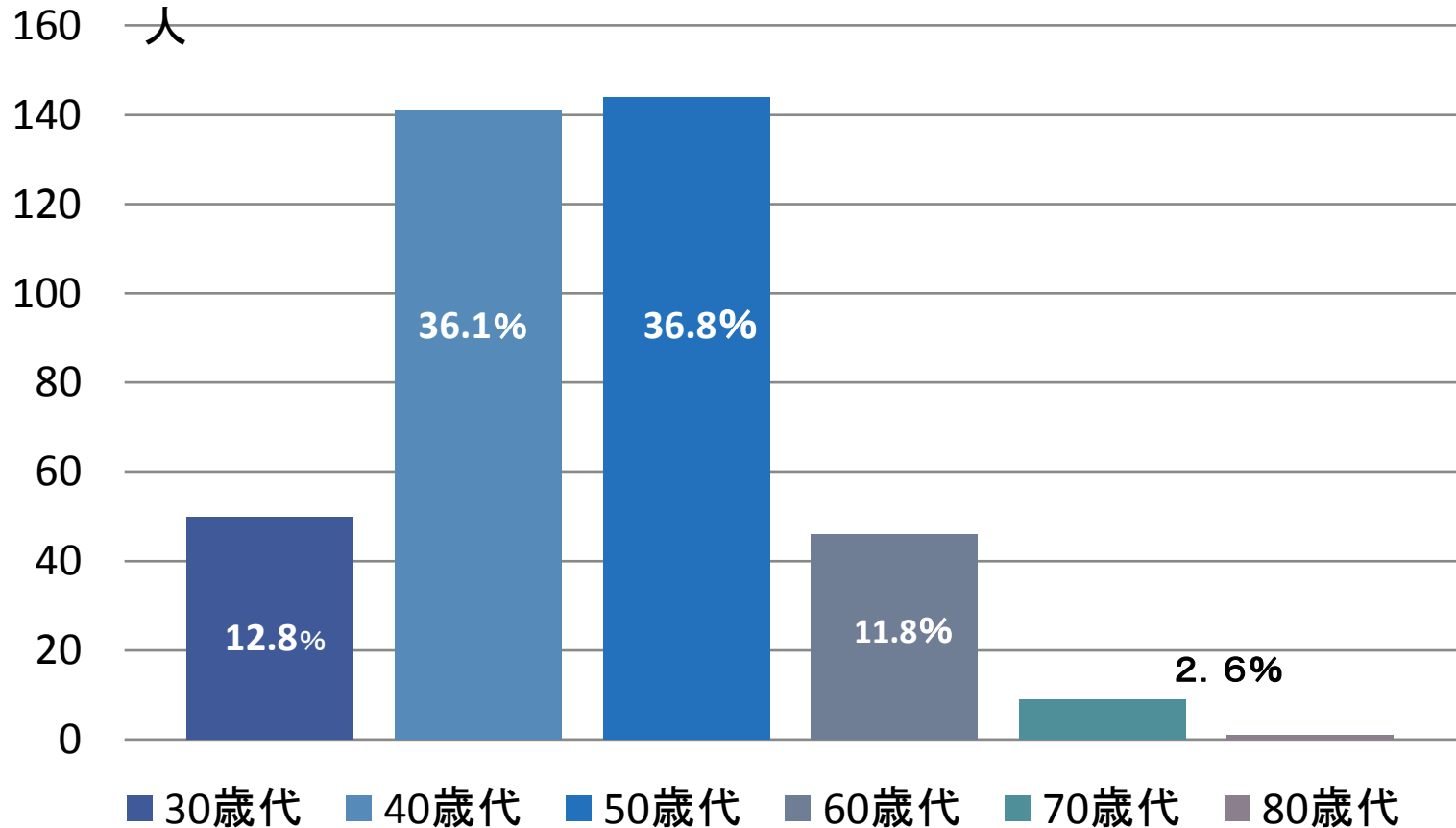
（自由記載）

Q 8. 胃カメラ実施中に、どのような言葉かけや介助をしてほしいと思われましたか？（自由記載）

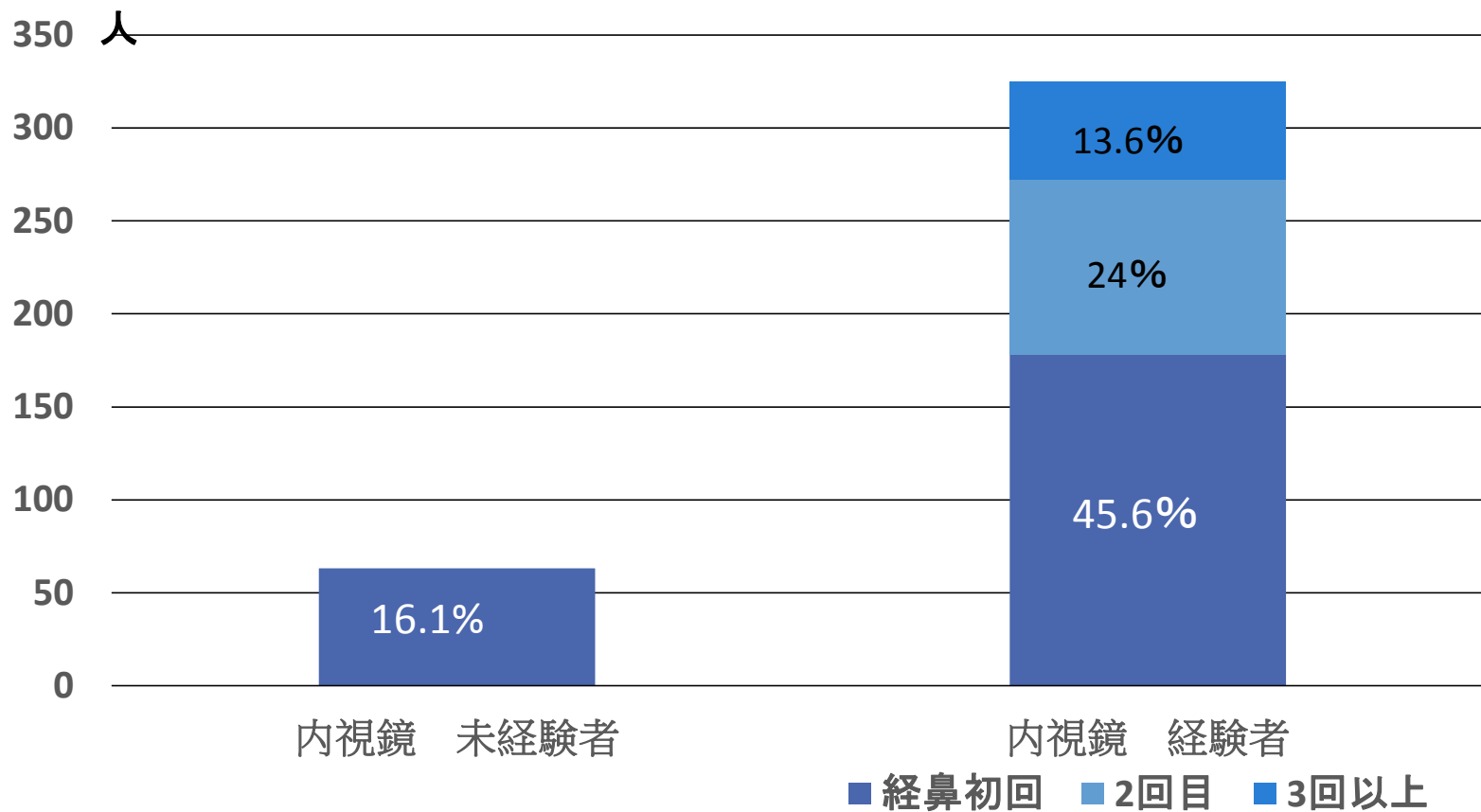


有効回答数391名（男性217名、女性174名）
年齢は30歳～83歳（平均49.9±9.1）

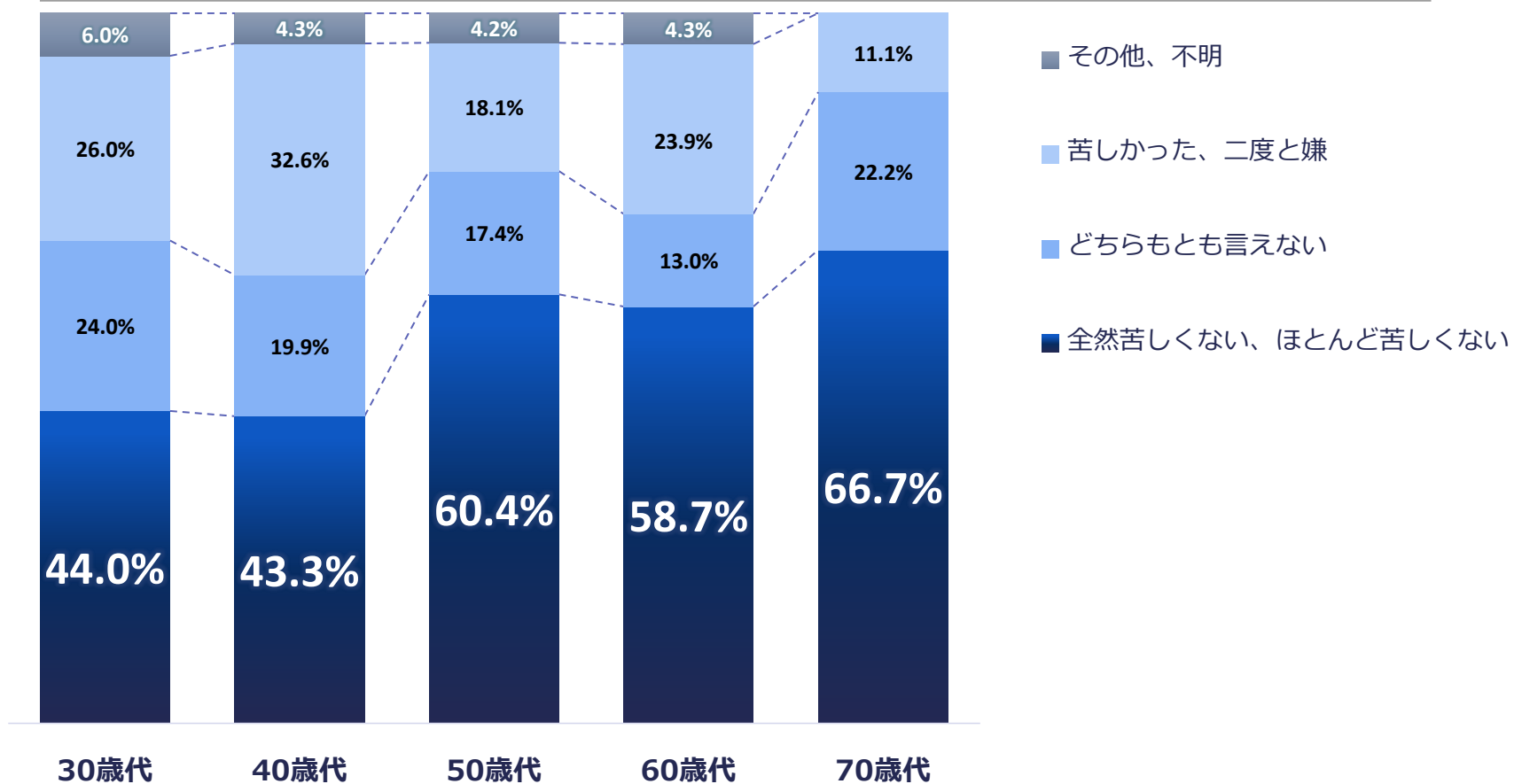
経鼻内視鏡 受検者の年齢構成



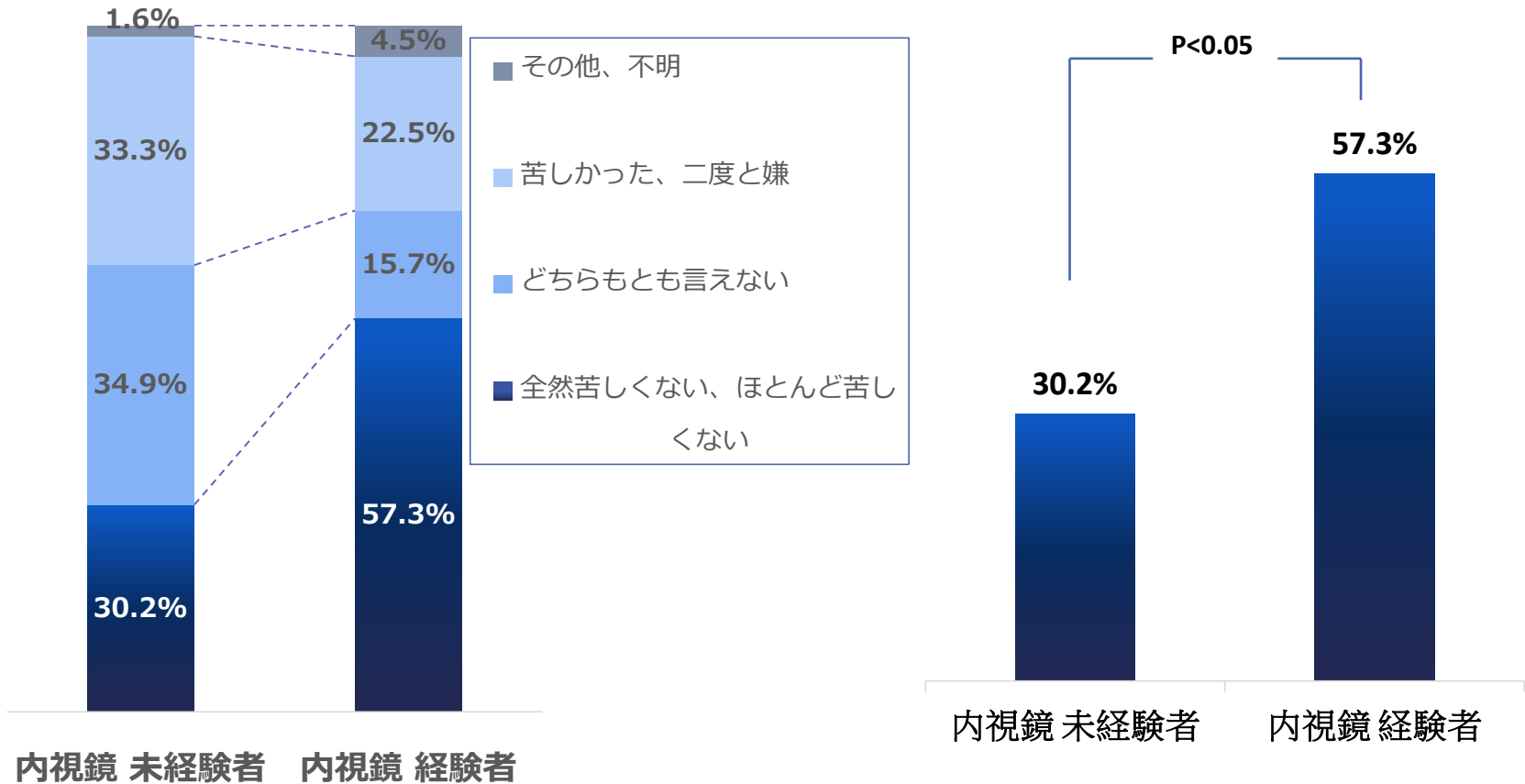
経口・経鼻内視鏡 経験の有無



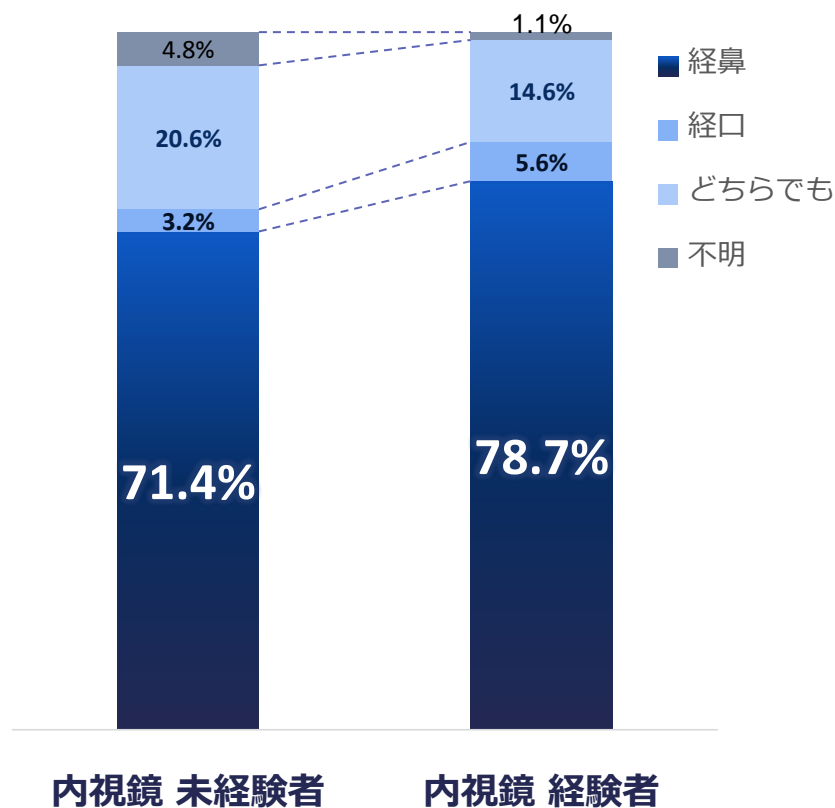
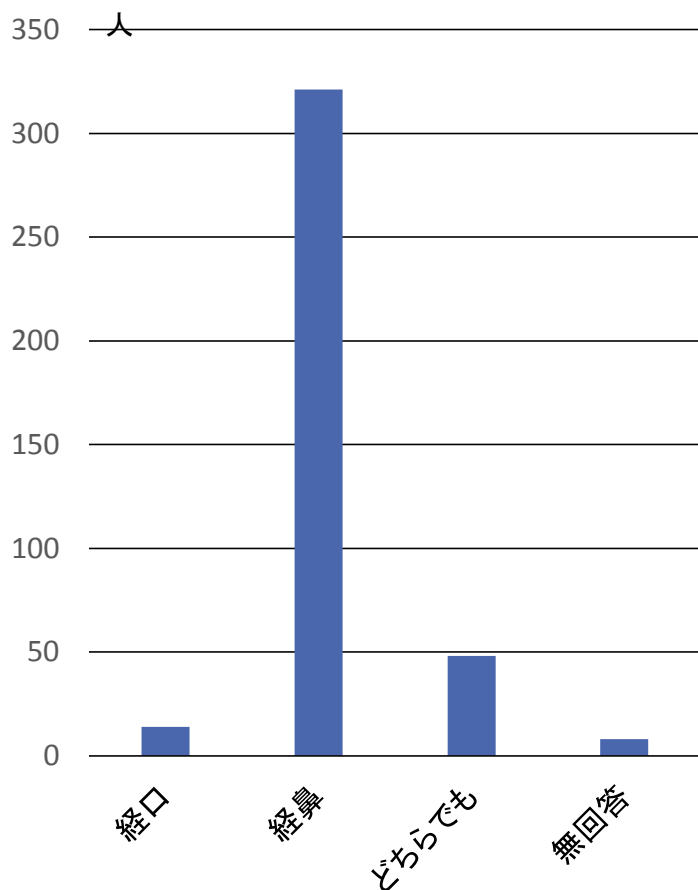
経鼻内視鏡の苦痛の程度



経鼻内視鏡での苦痛と内視鏡経験有無の関係



次回希望から見る経鼻内視鏡の需要



意見・要望

検査中の言葉掛けや介助で寄せられた意見

- 「背中をさすってもらえてよかった」・・・43.9%
- 「医師や看護師の声掛けで安心できた・頑張れた」・・・17.1%
- 「今の介助でよい」・・・14.5%

- 「進捗状況を知りたい、どこをみているのか教えてほしい」
- 「呼吸の仕方など具体的なアドバイスが欲しい」
- 「ゲップのタイミングを知りたい」
- 「肩より背中をさすって欲しい」
- 「褒めてほしい」
- 「手を握っていて欲しい」

など様々な回答が得られた。



結論

- 経口内視鏡の経験の有無に関わらず、次回の内視鏡検査で、経鼻の希望者が約80%いることから、経鼻内視鏡の需要が高いと考えた。
- 上部消化管内視鏡が初めての受検者、若い受検者には、事前の説明や、検査中の声掛け、タッチングをより丁寧に行うことで苦痛を緩和できると考える。
- 医師と看護師との連携と図り、受検者の個々のニーズに答えていく必要がある。

